きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん

12月園だより

きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん

２０１９年度 年主題〈ことばに満たされて～ひびきあう〉

1･2歳児１２月主題「よろこぶ」

月のねがい

◎イエスさまのお誕生を喜びぶ
◎保育者に見守られながら、自分でできることが増える
◎冬の自然にふれ、興味をもって遊ぶ
◎クリスマスの絵本やさんびかにふれる
◎遊びが深まり、興味を持ったことを試してみる

3･4･5歳児１２月主題 「喜ぶ」

月のねがい

◎クリスマスの本当の意味を知り、イエスさまのお誕生喜び祝う
◎喜びや感謝・賛美を心を合わせて表す
◎イエス様のみこころに叶った自分たちに出きることを考え、心や体を動かす
◎世界の国々の人々の事を知る
◎好きな絵本やお話が伝わり、イメージが広がり友だちと共感しながら過ごす

今月の聖句「今日ダビデのまちであなたがたのために救い主がお生まれになった」

ルカ2:11

クリスマスおめでとうございます。日本では、平成から令和に変わった2019年でありました。あっという間に年末だ、と感じておられる方も多いのではないでしょうか。

クリスマスは、大いなる喜びです。それは「あなたがたのために救い主がお生まれになった」からです。ドイツで始まったアドベント・カレンダーは、12月の日付が窓のようになっていて、一日ずつその窓を開けていくと、救い主イエス・キリストの誕生を思わせる、様々な絵が出てくる仕掛けになっています。窓を開けていく毎に、クリスマスが近づいていること、その期待感を膨らませてくれます。

私たちは喜びをどのように表すでしょうか。感謝の言葉を伝える。品物でお礼をする。クリスマス・プレゼントもそのように生まれました。御子イエスを訪問した人たちに「東の博士たち」がおりました。この人たちは、本来占星術師です。そんな人たちが、わざわざ遠くからベツレヘムの御子イエスを訪ねてきました。そして「黄金、乳香、没薬」という高価な贈り物を、喜びのしるしとして献げました。今日では、それらの贈り物は、当時の占星術師たちが占いの道具として使っていた商売道具だということが分かってきました。商売道具を献げたということは、彼らはもう占い師を辞めたことを意味します。御子イエスの誕生を喜び、その表れとして商売道具を献げ、人生の生き方をも変え、星占いから神さまを信じて生きる方へと変えられたわけです。本当の喜びは、それ程に人を変える力があるのです。

迎えるクリスマスが、皆さまにとりまして、そのような豊かな喜びで包まれるひと時でありますよう、心よりお祈り申し上げます。メリークリスマス！

協力牧師　池田基宣

１２月の行事予定

3 日（火）	持久走予備日
6 日（金）	クリスマス会予行
10 日（火）	もちつき大会
14 日（土）	クリスマス会　弁当日
17 日（火）	誕生会（2 才以上１月生
20 日（金）	終園式（1 号午前保育）

１月の行事予定

8 日（水）	始園式（１号午前保育）
14 日（火）	誕生会(2 才以上２月生)
25 日（土）	誕生会(めぐみ組１月生)
31 日（金）	おゆうぎ会予行　弁当の

1号認定児
入園申込み受付開始
１２月２日（月）
ご紹介を宜しくお願いします！

職員の異動のご報告

先月より、めぐみ組の担当保育教諭として持田志保が加わりました。何卒宜しくお願いいたします。また、子育て支援員の長瀬寧々が、一身上の都合で転出することになり退職いたします。大変お世話になりました。

いっぱい遊ぼう！

だんだん寒くなってくると、朝、布団から出てくるのが億劫になってくるものです。あと5分布団にくるまっていたいと思っているうちに、あわただしい朝の時間が過ぎてしまいます。そんな中、登園してくる子どもたちを「今日も頑張ってきたね。ご飯食べてこれたかな?」などと、声をかけながら迎えています。

冬へ移り変わるこの時期、2、3才の子どもたちは虫とり遊びの名残か？、虫取り網をもって園庭を散策しています。また、4、5才児は長なわの後ろに列を作って、“ゆうびんやさん”に挑戦しています。下の段ボールの表は、目標達成したらシールを貼っていくボードです。自分たちで名前を書き込み、長なわに並びます。”ゆうびんやさんはがきが5枚落ちました。拾ってあげましょ。1枚2枚3枚4枚5枚ありがとう”

お母さんたちも子どもの頃、遊んだ覚えがあるのではないでしょうか。数を数えたり、長縄を飛んだり、シールを貼ったりととても楽しそうです。何よりも子どもたちの元気な数え唄が園庭に広がり、見ているこちらもわくわくしてきます。楽しく遊ぶ中で、数に触れたり、順番を待って並ぶことを覚えていく子どもたち。集団で過ごす中で大事なことを獲得して楽しんでいます。　園長

グレートギフト　～まことのクリスマス～

さすがに十二月ともなると、種子島も少し冬めいてきました。いつものようにサザンカのつぼみがたくさん膨らみ、一つ二つと花を開き始めました。相変わらず半袖Tシャツで走り廻っている子どもたちからは元気が溢れています。五月に改元された令和も、早いもので、あと一月で元年が終わるわけです。きらびやかな慶事の陰に、国内外や身近なところで、今年も様々な出来事がありました。

一九二〇年代前半の頃、アメリカのある家庭のお話です。不況の嵐で父親の事業は破綻し、仕事も見つからないままでのクリスマスイヴ。生きていくだけで精一杯で、クリスマスプレゼントなど準備する余裕はどこにもありません。みんな落ち込んだ気分でベッドに入りました。信じられないことに、クリスマスの朝に起きてみると、クリスマスツリーの下にはプレゼントの山が積まれていました。全員期待と興奮を隠しきれない様子で、包みを開けていくと・・・・。まずはお母さんの包みからは、何ヶ月か前に「無くした」古いショールが出てきました。父親は柄の壊れた古い斧をもらい、妹には以前に履いていた古いスリッパ。弟の一人にはツギの当たったしわくちゃのズボン。そして、兄にはよれた帽子―前に食堂に忘れてきたと思っていたもの。・・・・それは、一番下の弟の仕業でした。何ヶ月もの間、無くなっても騒がれそうもない品をコツコツ隠していたとか。そして、イブの夜に、家族が寝静まってからこっそり包んで、ツリーの下の置いていたのです。最愛の家族への贈り物として。（戸田智弘著「座右の寓話」より）

ネガティブ・ヴィジュアリゼーションという心理的な手法があるそうです。いま自分が大切にしているものを失った悪い事態を想像することで、「自分はすでに幸福である」と確認するテクニックです。たとえば、自分の周りにいる人たち（家族や友人）、自分が持っている物（家やお金）、自分が持っている能力（健康や知力）を失ったらどうか。私たち人間はつい、今持っていない物を欲し、手に入らないことにため息をつくものです。すでに持っているものに目を向け、それが無くなったらどれだけ辛いかを想像するのです。生まれてから、あらゆる場面で与えられる有り難きものに感謝を持てる人生を歩みたいものです。現代科学の恩恵を享受していることも事実ですが、心の平安を与えられることこそ真の恵みではないでしょうか。

クリスマスから始まったキリストに関する一連の出来ごとは、天からの有難い「ギフト」そのものです。この時代に弱者・貧者の代表であった羊飼いに、最初にイエスの誕生の知らせがあったことに大きな意味があります。クリスマスを通して、イエスの降誕の真の意味を共に学び、この世に生かされている驚きと喜びを分かち合い過ごしていきたいと思います。これからインフルエンザの流行が予想されます。健康に留意され、穏やかな年末年始をお過ごしになられますようお祈りいたします。

学園長

イヤイヤに困ったら ～やってみよう！～

心理士：木口屋

笑わせてみよう！

日々の生活に“笑い”を！
子どもたちはお母さんの笑顔が大好きです。お子さんの笑いのツボは何ですか？

気をそらせてみよう！

お子さんが今こだわっていることとは全然違う話をし続けてみましょう。
お店での「買って買って攻撃」の時等にも効果的です。

抱きしめてみよう！

心はイエス（Yes）なのに
体がノー(No)の行動をしてしまう…
子どもも葛藤しています。
抱きしめることで体のNoが弱まって、心のYesに従いやすくなることも多々あります。
何より、お母さんとのスキンシップが安心できるでしょう。

待ってみよう！

お子さんの感情が爆発しているような時には、お母さんもそこから距離を置いてみましょう。
自分の気持ちを自分でなだめる術を学び始めている時でもあります。
つかず離れず見守って、静かになれたら“ほめて・はげまして・笑わせて”みましょう。

きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん きりすとこどもえん